



希望の鐘 The Bell of Hope



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町 7-16

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 23-07

1月号

発行 2021年1月16日

Chartered 1998

クラブ会長主題: 「埼玉YMCAを支援しよう！」
国際会長主題: “VALUES, EXTENSION and LEADERSHIP”
「価値観、エクステンション、リーダーシップ」
アジア太平洋地域会長主題: “Make A Difference”
「変化をもたらそう」
東日本区理事主題: “Let's enjoy Changes.”
「変化をたのしもう！」

会 長	吉野 勝三郎
副 会 長	松川 厚子
会 計	山崎 純子
書 記	利根川 太郎
地域奉仕・Yサ	利根川 太郎
メネット	吉田 公代
国際・交流	森下 千恵子・生川 美樹
ユース	山本 剛史郎
担当主事	河合 今日子

関東東部部長主題 「学びと親睦を糧に外へ向かおう！」

1月の聖書

全地よ、主に向かって喜びの叫びをあげよ。喜び祝い、主に仕え、喜び歌って御前に進み出よ。知れ、主こそ神であると。主はわたしたちを造られた。私たちは主のもの、その民、主に養われる羊の群れ。
(詩編 100 編 1～3 節)

Shout for joy to the Lord, all the earth. Worship the Lord with gladness; come before him with joyful songs. Know that the Lord is God. It is he who made us, and we are his, we are his people, the sheep of his pasture.
(Psalm 100:1-3)

2020年12月の統計 (12月19日)

在籍10名 出席者 9名

出席率 90%

ゲスト Zoom参加

- ・ Salem Y Service Clubの皆さん
Ericさん、Victoriaさん、Cliffさん
Carolynさんご夫妻、Bonnieさん、
Fredさん、Jillさん、PatさんとMarkさん、
Bobさん、Johnさん
- ・ 久保田貞視さん (東京八王子)

2021年 1月 例会予告

日時: 1月23日 (土) 16:00~18:00

場所: Zoom ミーティング (川越 YMCA)

- ・ 来年度役員検討決定
- ・ Zoomによる参加を原則とし、川越YMCAに会議室を設定してハイブリッドで開催します。

12月例会報告

利根川 太郎

会場: 川越YMCA

日時: 12月19日 (土) 11:30~13:30

1. 開会点鐘
2. ワイズソング「いざ立て」(省略)
3. ワイズの信条(省略)
4. ゲスト紹介
 - ・ ゲスト参加者自己紹介
5. セーラムクラブとの交歓会
 - ・ 川越クラブ会長挨拶 吉野会長
 - ・ クリスマスメッセージ 山本さん
 - ・ セーラムのクリスマス事情
6. 議事・報告
 - (1) 来年度の川越クラブ役員について
 - ・ 1月例会で引き続き検討

(2) 例会プログラム

・次回プログラム

- ・1月23日(土)16:00~18:00
- ・会場; Zoom ミーティング
- ・次期役員等の検討

川越YMCAにてZoom会議室を設定します。
吉野会長、山崎さん、利根川の計4名は、川越YMCAにてZoom会議室から参加

・次々回プログラム

- ・2月27日(土)16:00~18:00
- ・会場; 川越YMCA及びZoom ミーティング
- ・卓話: 岩澤勝己さん

アースディ川越 in 昭和の街実行委員長
日本シナリオ作家協会会員

・以降の案

- ・特別支援関連
- ・見沼田んぼ(来期以降)

7. YMCA報告

8. 閉会点鐘

川越ワイズメンズクラブ 年頭メッセージ

会長 吉野 勝三郎

A Happy New Year!!

Y's 年頭では、年頭後半に入りました。前半年頭はコロナ禍の中で、さまざまな社会的制約がありながらも、皆さんの積極的な協力により、いくつかのプログラムを実行し、毎月ブリテンが発行されたことを非常に嬉しく思います。

前半年頭で特筆されることとしては、International Brotherhood Club のアメリカ合衆国オレゴン州セーラム市にある、Salem Y Service クラブと、2回わたって Zoom で交流できたことです。皮肉なことですが、これはコロナがなければ実現しませんでした。16時間(冬時間では17時間)の時差を克服しての交流は、ワイズの仲間ならではの心温まる交流となりました。こども食堂も、一歩ずつ前進していることを知り、今後の発展と定着が期待されます。川越クラブの伝統的ファン・レイジングの“紅あか”は、他クラブからの注文もいただき、計画以上の売り上げとなりました。注文して下さった皆さんに感謝します。

さあ、あと半年はどうなるでしょうか。首都圏の1都3県には1月7日から一か月間の非常事態宣言が出されました。このState of Emergencyの後はどうなるのでしょうか。私の所属する教会は、今年の活動計画を立てられない状況です。やりたいことはたくさんありますが、実行がおぼつかない状態では、計画の立案ができません。それでも、私達が支援するYMCAはコロナ禍の試練の中にあっても、選択的ではありますが、活動を継続しています。私達も、知恵をはたらかせ、新型コロナウイルスに感染しないように、万全の備えをして、活動を行いまし

よう。

6月の甲府での東日本区大会が開催されることを願います。クラブメンバーの皆さんとそれぞれのご家族の上に、2021年が健康で安全な日々となりますように祈ります。

Salem Y Service クラブとの Zoom Meeting

会長 吉野 勝三郎

(2020年12月19日(土)午前11:30-12:30、
Salem 時間18日(金)午後6:30-)

三密を避けるため、ウエスタ川越の広い会議室を予約して、川越YMCAに集う学童も交えて、Zoomによるリモートで、Salemと川越を結んで楽しいクリスマス例会を企画しましたが、その後の新型コロナウイルスの感染拡大により、集まったの会合は中止としました。

それでも、ワイズのメンバー6人は川越YMCAに集まり、その他のメンバーは自宅からZoomで参加。利根川太郎さんが通訳付きのZoomを設定してくれ、恵子さんの通訳でIBCの交流が実現しました。

前回もそうでしたが、Salemのメンバーは、多くの方が定刻前にコンピューターの前に集まれ、積極的にこの交流を盛り上げて下さいました。Salemの会員の一人は、当日の参加者の多くが、彼女を小さい頃から良く知っているということで、なごやかな雰囲気を感じる交流となりました。

・SalemのYMCA会館は、3代目の建物を建設中で、完成までにはあと2年はかかるだろう。

・Salemクラブ伝統の古書販売は、今年はコロナ禍のため中止となった。

・川越クラブの10月例会における、神山節夫さんの卓話「川越のシンボル・時の鐘の歴史」の概要をブリテンの英語版で読まれた方から、川越の歴史についてもっと知りたいとの希望が出された。

・川越クラブのメンバーからも、自己紹介として全員から発言があった。

このように、SalemクラブとのIBC関係が進展・深化していることと、ブリテンの英語訳を読んでいる人がいることを知り、大変励まされました。

また、Salem在住経験のある東京八王子クラブの久保田貞視さんも参加いただき、例会を盛り上げていただきました。



次回の日程はこれから決めることとなりますが、内容を工夫して、より意味深い国際交流へと進化させましょう。

12月わいわい食堂実施報告

利根川 恵子

12月6日(日)11時45分から14時、埼玉YMCA川越センターで開催されました。川越クラブからは、(敬称略)山崎純子、吉田公代、山本剛史郎、生川美樹、利根川恵子の5名が参加しました。山本希歩(のあ)ちゃん、真和(まな)ちゃんも参加しました。

当日は、クリスマス前ということで、クリスマス 테마にした昼食とクラフトが提供されました。昼食のメニューは、カボチャのポタージュ、スタッフドエッグ(ブロッコリー、人参、ポテト添え)、チキン・オーブン焼き、ホットケーキで、クリスマスカラーを基調としているばかりでなく、スタッフドエッグの上に飾られた人参やブロッコリーの茎が星形となっているなど、調理スタッフの意気込みが感じられる昼食でした。



食後はクラフトの時間で、クリスマスのリースやオーナメントを作る時間でした。3~4人ずつのグループに分かれ、ふんだんに揃えられた材料の中から、自分の好きなものを選び、工夫をこらしての創作となります。今回は、新家さんからたくさんの松ぼっくりをいただき、リースにしたり、飾りに使ったり、子どもたちは自然の材料を生かしての工作に大喜びでした。力作の何点かをご紹介します。



最後には、サンタクロースとトナカイさんも駆けつけ、プレゼントを配るというサプライズもあり、参加した子どもたちには思い出深いクリスマスの一つとなったことと思います。



次回は1月31日の予定です。新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言下で、どのような活動にするか、今後、代表の伊勢国望さんを中心に対応することとなります。安全、安心を第一に、しかし必要としている人々を思い、検討を進めます。

YMCA報告

河合 今日子

<事業の実施内容について>

政府による緊急事態宣言の発令、並びに埼玉県による緊急事態措置等の発表を受け、埼玉YMCAとしては、以下の通り対応いたします。

公益財団法人埼玉 YMCA

緊急事態宣言並びに緊急事態措置等の発令に伴うご案内

2021年1月7日(日)に発令されました政府による緊急事態宣言、並びに埼玉県による緊急事態措置等を受けまして、一部事業の実施内容を変更して該当期間の運営を行います。引き続き安心・安全・健康を第一として、皆様のご理解とご協力をいただきながら、徹底した感染症拡大予防策を講じて進めてまいりますので、よろしくお願ひ申し上げます。

<1月11日(日)~2月7日(日)の期間中の状況>

- 野外教育活動のスキーキャンプ(県境をまたぐプログラム)は中止いたします。
- 他の事業は年間予定の通りに実施いたします。
 - ・時間帯が夜8時にかかるクラス/プログラムにつきましては、終了後の速やかな退館にご協力をいただくとともに、健康面にご不安がある際には積極的に休みにいただくことをお願ひ申し上げます。(このクラス/プログラムにつきましては、特別体会対もいたしますので、詳しくは受付窓口にてお問い合わせください。)

「特別体会対 問い合わせ窓口」

埼玉YMCA 所沢センター 電話番号:04-2939-5051



<特別支援教育の支援金からシュレッターならびに書籍を購入いたします>

数十年前に購入いたしましたシュレッターに不具合が生じているため、今年度の支援金から新しい物を購入させていただきたいと思っております。また、子どもたちのための書籍、特別支援教育の指導書等にも充てさせていただきたいと思っております。ご支援ありがとうございます。

<野外教育活動をオンラインにて開催>

川越センター「トースター」の12月の活動は、コロナウイルス感染症拡大を受け、オンラインにて実施しました。

日頃は、思い切り外で身体を動かすことができる活動ですが、12月は「離れていてもつながることができる」オンライン活動を通して、仲間やリーダーと楽しい時間を過ごしました。

特に、クリスマスビンゴ大会では、ワイズの吉田さんから寄贈していただきました『鬼滅の刃のペンケース』や、企業からいただきましたお菓子等を景品としましたところ、大変盛り上がりました。



「来月はみんなで会おうね!」と話しておりましたが、緊急事態宣言を受け、今月の野外活動もオンラインで行うことになりました。現在、子どもたちは学校行事や部活動もなくなり、制限の多い毎日が続いています。私たちは YMCA の活動の中で少しでも子どもたちがワクワクするような楽しい時間を提供できるよう、連日準備を進めております。現在、トースターでは、「スペシャルおみくじプログラム」の景品を大募集しておりますので、子どもたちが喜びそうな物がご家庭にございましたら、ご提供いただけますと幸いです。

その他連絡事項

利根川 太郎

- 1月23日(土)川越クラブ例会について
 - ・例会は以下の形で開催したいと思います。時間;16:00~18:00 場所;Zoom参加を原則とします。
 - ・川越YMCAに利根川恵子と太郎が行き、いつもの会議室でZoomを開設しハイブリッド会議にします。ご自宅からのZoom参加を原則としますが、YMCAに来て一緒に参加することもできます。
 - ・大久保知宏さん(宇都宮クラブ)が参加予定です。
- 小倉メモリアルクロスの記憶

YMCA史学会会員、福岡中央クラブの安藤邦昭さんが「小倉メモリアルクロスの記憶」を上梓されました。安藤さんは川越クラブの卓話にも(当時は北九州クラブ)来ていただいた方ですので、ご紹介します。

小倉 日本とフィリピンの 国交回復に尽くしたYMCA メモリアルクロスの 記憶

Ando Kuniaki
安東 邦昭

四六判/並製/120ページ
定価1,300円+税(木曜会刊)

目次

序 3

第1章 小倉YMCAの設立と戦後の展開

(1) 小倉YMCA設立当時の時代背景

(2) 小倉YMCAの設立

(3) 熟き理事たち

(4) ほとぼしる小倉YMCAの活動

第2章 朝鮮戦争と小倉メモリアルクロス

(1) 戦後の小倉と連合軍の駐留

(2) 朝鮮戦争の勃発

(3) 小倉メモリアルクロスの建設

第3章 日比国交回復と小倉YMCA

(1) 戦後日比関係改善に取り組んだYMCA

(2) モンテンルバ刑務所における支援活動

(3) ネルソン博士と戦犯支援

(4) 小倉YMCAが取り組んだ助命・減刑運動

第4章 恩赦—「赦し難きを赦す」キノノ大統領の決断

(1) 葛藤するキノノ大統領

(2) 戦後最大の観光団を迎える

(3) NBPからの帰国とその後

おわりに

お名前	部数	小倉メモリアルクロスの記憶 日本とフィリピンの国交回復に尽くしたYMCA 定価1,300円+税/ISBN978-4-909317-18-6 C0036
ご住所〒		送付先 FAX : 093-961-3715 (安東)
TEL :		

編集後記

利根川 太郎

たいへん遅くなりましたが、川越クラブのブリテン1月号をお届けします。

12月例会は、Salem Y Service Clubの12名の皆さんがZoomで参加してくださり、川越クラブも9名が参加して、セーラムのクリスマス事情を伺うなど、大いに盛り上がりました。

恵子の同時通訳も入れて、前回よりスムーズで和気藹々とした交流会になったと思います。

セーラムクラブからは、川越のまちや歴史についてもっと知りたいという要望がありました。前回のブリテンに記載した川越のお散歩例会をご覧いただいたとのことです。生川さんが英語に訳して送っていただいている川越クラブのブリテンをよく読んでくださっているということでした。

コロナ感染拡大で、なかなか思うような活動ができません。そんな中でも、各自宅からの参加を原則としつつ、川越YMCAの教室を使ったハイブリッド会議などを活用して、柔軟に例会ができればうれしいと思います。

緊急事態宣言も発令されましたが、希望を持って活動していきたいと思います。早く感染拡大が収束することを願っています。